

講義名	財務分析論			授業形態	
担当教員	孫 美晃	開講期・曜日・時間	後期 火曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

本講義は財務諸表の仕組みに関する内容と財務分析の手法に関する内容で構成されています。財務分析の手法の解説が終わった後、各自が選択した上場企業の財務諸表をもとに演習する形式で進めています。

到達目標

- (1) 財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書）を読むことができるようになります。
- (2) 財務分析の基本的な手法が理解できるようになります。
- (3) 特定の企業を対象に、財務分析の指標を計算できるようになります。

提出課題

ほぼ毎回の講義で課題の提出を求めます。課題は、要件を満たした企業を選択し、財務指標を計算するものが数回含まれます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出した課題については、講義中フィードバックします。

評価の基準

定期試験は実施せず、提出した課題（70％）、テスト（30％）で総合的に評価します。

履修にあたっての注意・助言他

財務諸表の分析手法を学ぶ科目ですので、日商簿記検定3級レベルの基本的な知識は必須です。「商業簿記」を履修済みであることを前提に講義を進めていきます。「商業簿記」を履修済みであることが望ましいです。簿記の初級者を対象とした科目ではないので、くれぐれもご留意ください。

教科書

.使用しない .

参考図書

.財務諸表分析(第4版).	乙政正太	同文館出版	3850	9784495193041
.財務諸表分析(第9版).	坂井久勝	中央経済社	3740	9784502489914

その他

<プリント資料>
講義中、配布します。

授業計画

- 第1回 ガイダンス・財務諸表の役割
予習内容：キャンパルクロスからの講義案内を熟読し、Teams上のクラスに登録する。また、参考図書やその他資料を利用して、財務分析とは何か、なぜ財務分析を行うのかについて調べる。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。また、課題に取り組み。（120分）
- 第2回 貸借対照表 資産
予習内容：参考図書を利用して、資産について予習する。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。また、課題に取り組み。（120分）
- 第3回 貸借対照表 負債と純資産
予習内容：参考図書を利用して、負債と純資産について予習する。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。また、課題に取り組み。（120分）
- 第4回 損益計算書
予習内容：参考図書を利用して、損益計算書について予習する。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。また、課題に取り組み。（120分）
- 第5回 キャッシュフロー計算書
予習内容：参考図書を利用して、キャッシュフロー計算書について予習する。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。また、課題に取り組み。（120分）
- 第6回 連結財務諸表
予習内容：参考図書を利用して、連結財務諸表について予習する。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。また、課題に取り組み。（120分）
- 第7回 収益性分析
予習内容：参考図書を利用して、収益性分析について予習する。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。また、課題に取り組み。（120分）
- 第8回 収益性分析
予習内容：収益性分析を行う企業を選定し、事前に財務諸表をダウンロードする。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。（120分）
- 第9回 安全性分析
予習内容：参考図書を利用して、安全性分析について予習する。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。また、課題に取り組み。（120分）
- 第10回 安全性分析
予習内容：安全性分析を行う企業を選定し、事前に財務諸表をダウンロードする。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。（120分）
- 第11回 効率性分析
予習内容：参考図書を利用して、効率性分析について予習する。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。また、課題に取り組み。（120分）
- 第12回 効率性分析
予習内容：効率性分析を行う企業を選定し、事前に財務諸表をダウンロードする。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。（120分）
- 第13回 成長性分析
予習内容：参考図書を利用して、成長性分析について予習する。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。また、課題に取り組み。（120分）
- 第14回 成長性分析
予習内容：成長性分析を行う企業を選定し、事前に財務諸表をダウンロードする。（120分）
復習内容：講義内容を復習し、理解を深める。（120分）
- 第15回 総括（テスト）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

企業の会計情報を収集、分析するための高度な方法を身につけることができます。
卒業認定・学位授与の方針（1）との関係：企業マネジメントにおける財務的な問題を発見し、解決策を提案するための基礎知識が身に付きます。
卒業認定・学位授与の方針（4）との関係：企業経営における重要な目的の一つに利益の追求があげられるが、利益を計算する仕組みについて理解することができます。
卒業認定・学位授与の方針（4）との関係：初歩的なレベルではあるが、財務的な側面から具体的な改善策や解決策の提案ができる。
卒業認定・学位授与の方針（5）との関係：企業の財政状態、経営成績、キャッシュフローについて分析することができます。
卒業認定・学位授与の方針（5）との関係：財務分析の手法を身に付けることによって時系列的分析、同業他社との比較分析ができます。このような分析を通じて、企業が直面する問題や強みを発見し、経営戦略の構築に貢献することができます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

双方向授業の実施：講義中、教員からの質問に対し自らの考え方を整理し、発言する機会はほぼ毎回あります。
ICTの活用：Teamsを利用する予定です。

実務経験の有無及び活用

実務経験あります。
実務経験が本講義の内容と直接関連するわけではないですが、受講生に刺激になると思われるエピソードがある場合は適宜紹介していきたいと思います。

備考